

令和2年度学術資料整備委員会活動経過報告

I. 会議等の開催状況

(第1回) 日時：令和2年8月3日～8月6日（メール審議）

議題：学術資料整備委員会令和2年度事業計画について

II. 活動内容

1. 令和2年度事業計画の策定

○ 国立大学図書館として利用者に提供すべき学術情報資源を適切に整備し、長期的な利用環境を構築するために、調査・企画などを実施する。

○ 活動計画／重点事項

(1) 電子ジャーナルに関する検討

電子ジャーナルの問題を中心とした国立大学図書館協会シンポジウムの開催について社会情勢を鑑みつつ検討を行う。また、新たな契約の在り方について各加盟館の意見を聞き、その結果を共有することを検討していく。

(2) 電子書籍に関する検討

ウィズコロナ、アフターコロナにおける学習環境、学習方法の変化への対応として、大学図書館は電子書籍の整備が喫緊の課題である。国内の学術書の電子書籍化推進と、その長期的な利用環境の構築について、出版社等への働きかけなどを検討する。

(3) 委員会活動の総括および課題整理

当委員会の最終年度を迎え、これまでの活動の総括を行うとともに、次期ビジョン期間に対応すべき課題について整理を行う。

2. 各重点事項の活動経過

(1) 電子ジャーナルに関する検討

電子ジャーナルの問題を中心とした国立大学図書館協会シンポジウムの開催については、コロナ禍の状況に鑑み、オンライン開催を含め検討を行ったが、期待できる効果も限定的であるため中止とした。引き続き新たな契約の在り方に関する情報共有について検討していく。

(2) 電子書籍に関する検討

遠隔授業への対応も含め、大学図書館は学修に必要な電子書籍の導入をさらに推進していく必要があることから、国内電子書籍の提供点数増加や、大学図書館向け電子書籍の整備・拡充について、国立大学図書館協会から発信することを念頭に置いた声明案を検討、作成中である。

(3) 委員会活動の総括および課題整理

学術資料整備委員会では、国立大学図書館協会ビジョン2020の「重点領域1. 目標2) 出版された資料の整備と利用」に取り組み、委員会の下に3つのワーキンググループ（電子ジャーナル、デジタルアーカイブ、シェアード・プリントの各WG）を設けて事業を進めてきた。これらの各事業について振り返り、平成28年度から令和2年度までの委員会活動をまとめて評価と総括を開始した。

III. 委員構成

委員長：	佐久間 淳 一	名古屋大学附属図書館長
副委員長：	岩 永 誠	広島大学図書館長
委員：	鵜澤 和 往	富山大学学術情報部図書館情報課長
	棚橋 是 之	信州大学附属図書館管理課長
	竹谷 喜美江	名古屋大学附属図書館事務部長
	北村 照 夫	大阪大学附属図書館事務部長
	村上 健 治	神戸大学附属図書館事務部長
	大元 利 彦	広島大学図書館部長
	堀 優 子	九州大学附属図書館eリソース課長
事務局：	鈴木 雅 子	名古屋大学附属図書館情報管理課長
	小嶋 悦 子	名古屋大学附属図書館情報管理課企画調整係

○電子ジャーナルワーキンググループ

主 査：	大元 利 彦	広島大学図書館部長
	渡邊 匡 一	信州大学附属図書館長
	棚橋 是 之	信州大学附属図書館管理課長
	鈴木 雅 子	名古屋大学附属図書館情報管理課長
	杉田 茂 樹	京都大学附属図書館学術支援課長
	大塚 志 乃	大阪大学附属図書館学術情報整備室室長補佐
	篠栗 伸 一	和歌山大学クロスカル教育機構学術情報センター 図書館学術情報課長
	尾崎 文 代	岡山大学附属図書館情報管理課長
	田中 俊 二	山口大学図書館学術基盤部長
	仙波 行 茂	愛媛大学図書館事務課長
アドバイザー：	船守 美 穂	国立情報学研究所情報社会相関研究系准教授
事務局：	岡田 高 志	広島大学図書館図書学術情報企画グループリーダー